

平成15年度第9回法務委員会議事抄録

日 時 平成16年 1月16日 (金) 1300～1800
場 所 操縦士協会事務局会議室

記

1. 航空安全委員会との共催によるヒューマンファクター基礎編 聴講
講師 日本ヒューマンファクター研究所 研究開発室室長 石橋 明氏
2. 前回議事録確認
3. 平成16年度法務委員会活動計画
 - ・ 基礎研究
部外講師による講義聴講
事故調査制度における問題点
過失認定に伴う問題点
乗員資格制度
航空法
 - ・ 事例研究
航空機事故裁判傍聴
航空機事故裁判記録調査
秋田ヘリコプター事故裁判
 - ・ フィードバック、広報活動
PILOT誌への寄稿
ホームページの利用
小型機事故の情報提供
事故に遭遇したら (PILOT手帳)
 - ・ 支援活動
弁護士を紹介
事故当事者への側面的支援
支援活動についての情報提供
 - ・ 交流促進
他委員会との合同開催
部外講師による講義聴講
他団体との情報交換
事故調査委員会
海難審判庁
 - ・ 人材育成
新委員の募集
委員の知識レベルアップ
- ・ 引き続いて航空機事故に関する法務問題について取り組み、事故が発生した場合の操縦士への過失認定に関する問題点を重点的に検討する
- ・ 事故当事者への側面的支援と情報提供
- ・ 協会ホームページ、PILOT誌を通じての広報活動
4. 平成15年度法務委員会活動報告
 - ・ 実施状況
池田教授の過失認定問題に関する講義聴講
法務委員としてJL706便裁判傍聴。1月16日現在で3回延べ3名、年度末までにさらに

派遣予定

P誌 9月号にJL 9 0 7 便機長書類送検についてJAPA見解、草稿を作成

P誌 1 1月号にJL 7 0 6 裁判における事故調査報告書証拠採用に関しJAPA見解、草稿を作成

・達成度

事故事例法務問題研究については継続的に進行中

本年度の裁判傍聴、メディアを通じての広報はほぼ完了

5.平成16年度法務委員会予算案

年間活動費

裁判傍聴費用

講師招聘費

合計50万円

6.過失認定に伴う問題点の検討

医療裁判最高裁逆転判決の新聞記事考察

過失論の流れ

過失犯の客観的構成要件と違法性

過失犯の責任要素

予見可能性

予見可能性の対象

予見可能性の程度

7.運航技術委員会研究論文に対する識者の意見

委員長より識者に宛てた回答と補足意見を紹介

8.その他

次回の法務委員会は2月20（金）開催を予定

航空・鉄道事故調査委員会 知場事故調査官

航空事故調査に関する講義、聴講予定

以 上